

日々新聞



世の中不貞僅つらに物とまゝとて爰小

阪府東大組塩町一丁目小母と娘と二人

住居の者よりありさる様も何れ

して細き煙がふえたる

うち又さう小母と

病の床ふふ娘の志

せんうませんと明暮

あゝむ折うふ

母が去り十二月十七日の夜

小母の志むへ一病苦と忍びて

家へ接出三休橋より身殺して

死にけり娘を病人の居らぬ小警ささかじりありる内母の入氷の

由とささかじりる其身も共小彼橋より飛入一折ふ一通りある

小舟の上不落とれい船頭あつく女抱しを命つかるうりといふ此船頭へ

権兵衛と云一者ありと或る人の

語りし事茲に記す

小佐政三氏

子又信重

治正受板

形九

